

第1級公認審判員講習会(2021-2022 シーズン)

BMX(レーシング)検定結果と講評について

令和4年12月1日

(公財)日本自転車競技連盟審判委員会

委員長 松倉信裕

標記講習会のうち、前回ご報告以降に実施したBMXレーシングの検定結果についてご報告いたします。

受講者は定員10名程度に対して、6名の応募があり、全員が筆記検定に合格しました。

次いで、2022年10月29日から30日に開催した全日本選手権大会において、執務状況および口頭試問による実技試験を実施して合否判定を行いました。

《合格者一覧》

小川 和也(東京)、松下 博美(神奈川)、宮城 力(東京)、渡辺 明美(茨城)、渡辺 浩嗣(茨城)
以上5名(順不同)

《講評》

本種目に於ける「国内講師による第1級公認審判員試験」の初開催ではありますが、既に十分な経験と知識を有し活躍されている方々が受講され、実力通りの結果となりました。

長年競技に携わり、選手や関係者の信頼も厚いことから、今後のコミッセールとしての活動のみならず、次世代の育成についても円滑に進められることを期待しています。

コロナ禍での社会生活も3年目となり、日常の中のスポーツの意義が見直されつつあります。また、各加盟団体のご協力の下、新たに第3級公認審判員資格を取得し、大会運営に参加される方が少しずつ増えてきました。今後の国内に於ける国際大会の開催も見据え、国際的に活躍する人材育成の着手も望まれます。

これらの変化の兆しを捉え、これからの自転車競技の発展の為に、各加盟団体に於かれましては益々のご協力を、審判員各位は更なる研鑽を重ね、より上級資格へ挑戦されることを願っております。

以上